

平成 22 年度第 1 回さいたま市庁舎整備検討委員会 会議録

日時	平成 22 年 11 月 17 日 (水) 14 時 00 分～15 時 15 分
場所	ときわ会館 5 階 502 会議室
出席者 (敬称略)	<p>[委員] 計 18 名 桜井慧子 / 清水志摩子 / 土橋章次 / 伊藤巖 / 橋本昭司 / 山田長吉 / 坂本和哉 / 親松高穂 / 西山鶴生 / 田中岑夫 / 木内一好 / 小山静江 / 野崎博行 / 高野津代子 / 島頼子 / 小林敏 / 野尻房夫 / 丸基好</p> <p>[事務局] さいたま市 政策企画部 : 田邊部長 / 川島参事兼企画調整課長 企画調整課 : 高根副参事 / 浅見参与 / 金子課長補佐兼総務係長 / 蓮見主査 / 松尾主査 / 藤主任 / 星野主事 区政推進室 : 有住副参事 浦和西部まちづくり事務所 : 持田所長 / 菅原所長補佐兼再開発係長 まちづくり総務課 : 新井課長</p> <p>[傍聴者] 0 名</p>
議題及び公開又は非公開の別	<p>(1) 区役所の現状等について 区役所のあり方について 南区役所の動向について</p> <p>(2) 今後のスケジュール等について 今後のスケジュール (案) について 本庁舎建て替えに伴う概算費用等について [公開]</p>
配付資料	<p>次第 委員名簿 席次 資料 1 区役所のあり方検討委員会における検討状況 (概要) 資料 2 武蔵浦和駅第 1 街区 第一種市街地再開発事業 (パンフレット) 資料 3 さいたま市庁舎整備検討委員会スケジュール (案) 資料 4 本庁舎建て替えに伴う概算費用等について 参考資料 さいたま市庁舎整備検討委員会検討の経緯 就任承諾書・返信用封筒</p>
問い合わせ先	さいたま市政策局政策企画部企画調整課 電話 048-829-1033

1 開会

小林委員長より挨拶

配付資料の確認

2 議題

(1) 区役所の現状等について

区役所のあり方について

資料に基づいた事務局説明の後、質疑応答、意見交換が行われた。

清水委員：「資料1 区役所のあり方検討委員会における検討状況(概要)」について、「区役所の位置づけ」の記載があるが、内容が市民に媚びすぎていないか。また、の順番が逆で「地域と行政を結ぶ最前線」が最重要ではないか。市役所、区役所がどうあるべきかとずれている感じがする。

事務局：本内容は、区役所のあり方検討委員会で市長から委嘱された委員により検討したものであるが、ご意見があったことは伝えたい。

清水委員：「地域における絆づくりの最前線」とあるが、これは区役所ではなく、自治会に任せればいいのか。区役所はスピーディに、やるべきことをやることが重要であり、また区役所は市役所と市民のパイプ役である。真のサービスとは何かを見極め、揺るがず、市民に媚びずにしっかりやってもらいたい。

田中委員：去年の9月頃、岩槻駅前のワッツにあったサティが撤退し、区民に説明もなく突然一方的に、3階4階部分に岩槻区役所を移転すると言い、現在も143自治会のうち142自治会が反対しているにも関わらず、市は話を進めている。地域住民としては、地域との整合性をとるのであれば、もう少し柔軟に区民の意見を聞いて対応してほしい。区のあり方については、地域性を出すのであれば、予算も含め、もう少し区長に権限を委譲するべきではないか。

委員長：岩槻区役所移転については、ご理解いただけるような説明に努めたが、尽くせなかった点もある。今後、細かい要望等については汲んでいきたい。

事務局：区長に予算の権限を与えるべきというご意見については、区役所のあり方検討委員会においても同じような意見が出ている。

田中委員：現在は、舗装工事や防災程度しか区長の予算の権限はないのではないかと。地域の独自性を出すには、予算面も考慮してもらいたい。

(1) 区役所の現状等について

南区役所の動向について

資料に基づいた事務局説明の後、質疑応答、意見交換が行われた。

親松委員：「資料2 武蔵浦和駅第1街区 第一種市街地再開発事業（パンフレット）」について、建物の3階で駅に行くデッキに出入りできるのか。

事務局：武蔵浦和駅の改札からデッキで、建物の3階部分に出入り口ができる。

親松委員：現在は2階の高さだと思うが。

事務局：少し勾配はあるかと思うが、3階部分でほぼ平行に出入りできるようになる。

親松委員：天井が低くなるのか。

事務局：それはない。建物の敷地自体が、ほぼ1階分低くなっているため、建物の3階と2階の高さにあるデッキがほぼ平行になる。

桜井委員：3階のデッキ部分について、隣に大里小学校があるが、小

学生も歩けるのか。どういう風になるのか。

事務局：区役所と大里小学校の間に都市計画道路があるが、大里小学校のグランド側にエレベーターを設置し、歩道橋を設け、区役所まで繋がるようにする予定だ。

桜井委員：便利になって良い。

清水委員：総予算はどの位になるのか。

事務局：1街区全体の予算で約418億9千万円。建物3棟、駅前広場、道路等全て含めての計画である。

清水委員：市庁舎を建てなければならないのに、区役所ばかり立派に建てている。区役所にはコミュニティセンターも併設されているが、効率も悪いようで、市庁舎を建て替えるか心配だ。

委員長：確かに多額の費用がこの第1街区にかかっているが、南区役所は仮設であり、本設しなければならない。その中で検討し、複合施設とした。

清水委員：計画を立てたときは景気が良かった。

田中委員：公共施設棟だけの事業費はいくらか。

事務局：約93億5千万円である。

(2) 今後のスケジュール等について

今後のスケジュール(案)について

資料に基づいた事務局説明の後、質疑応答、意見交換が行われた。

清水委員：市が建てる建物は、さいたま市に本社がある業者が優先受注する等の決まりはあるのか。市の税金で実施するものは、市に納税している業者を是非とも優先してもらいたい。

丸 委 員 : 財政局の契約管理部において、土木、建築の公共工事、設計等の業務委託を管理している。基本的に市内業者を優先し所在地を限定しているが、高等な技術を要する等市内業者ではできない場合は、市内に支店を有する業者等を優先している。しかし政令指定都市では、W T O という世界的な業務協定により、高額な工事については、所在地要件をつけられない制度もあるが、できる限り市内業者を優先している。

桜井委員 : 昨年の検討委員会で提案した、さいたま市に美術館のない件について、現在署名活動をしている。署名は何人以上必要なのか、また署名が集まった場合、実現の可能性はあるのか。市の美術館建設をどのように考えているのか伺いたい。

事 務 局 : 本市の美術館はすでにロイヤルパインズホテル内に開設されている。

桜井委員 : 会場が狭く、展示スペースがほとんどない。

事 務 局 : 美術館については所管外のため、今後の計画については把握していない。

西山委員 : 本庁舎の総事業費の概算についての資料があるが、本庁舎が移転することは決まったことなのか。

委 員 長 : 次の議題内容につき、まず事務局より説明をしてもらう。

(2) 今後のスケジュール等について

本庁舎建て替えに伴う概算費用等について

資料に基づいた事務局説明の後、質疑応答、意見交換が行われた。

伊藤委員 : 市庁舎の場所の選定について、合併から 10 年近く経過し時代も変わってきている。その点を踏まえて、どこに設置すれば一番効率的か、新しい視点で考える必要がある。新都心ばかりにこだわる必要はないと思うが、場所についての検討はしているのか。また、一般の人は本庁舎に行くことはほとんどなく、会議室に来る程度であり、会議室ならば本庁舎に

限らず、どこかの貸し部屋でもできないことはない。市民が負担を強いられないよう、経費についても考えてもらいたい。

事務局：本庁舎のあり方は、区役所のあり方に通じるため、区役所の役割等はどうあるべきかについての一定の結論が出れば、本庁舎の規模もはっきりしてくるので、規模については区役所のあり方検討委員会の結論を待ちたいと考えている。また、場所についても、合併協定書に新市の事務所の位置の記載があるが、さいたま新都心駅周辺地域を特定したものとは考えていない。

西山委員：庁舎を新規に建設する場合は試算だと約213億円かかるとのことだが、現況の市の財政状況において、新しく土地を買収し、庁舎を建てる必要性があるのか。別棟は耐震については大丈夫なようで、現庁舎を解体し、この場で建て直した方が安いのではないかと。

事務局：もし、現在の場所で建て替えるならば南側の駐車場に新しく庁舎を建て、移転するしかないと考えるが、市役所は開庁してはならず、その間現庁舎についても、そのまま生かせるようにしなければならない。その場合の建設費等はまだ何ともいえない。

坂本委員：5 - 6年前と現在とでは経済情勢が違ってくると思うが、今の庁舎に耐震性がないことが建て替えの基準になっていると思う。学校関係で実施している耐震工事を現庁舎で実施するとどのくらいになるのか。

事務局：耐震の計画については、全公共施設について平成27年度を目途に耐震改修をしていくこととしている。耐震改修は延命化ではないため、庁舎の建て替えとは別に、計画通り進めていくことになるだろう。現庁舎の耐震改修についての具体的な設計等はまだ行われていないため、費用等については把

握していない。現在埼玉県庁が耐震補強工事をし、また本市では学校を中心に工事をしているが、執務しながら耐震補強工事を実施した事例がないため、建設当局も見当がつかないようだ。

西山委員 : 耐震補強工事をすれば建物自体も半永久的に使えると錯覚することがあるが、それは違う。

田中委員 : ヨーロッパの建物には100年経過しているものもある。耐震や改修しながら維持管理すれば大丈夫なのではないのか。

坂本委員 : 現庁舎については、ときわ会館を使用する等、事務所としての面積が少ないことは理解しているが、浦和区役所の移転についての検討はされているのか。例えば市民会館を区役所として使用する等の計画はないのか。

事務局 : 浦和区役所の移転については、現在検討していない。

伊藤委員 : 市庁と県庁とでは、頻繁な往復があるのか。県庁の近くに市庁舎があることは、必要性として、かなりのウエイトを占めているのか。

委員長 : 経験上ではあるが、政令市以降、ウエイトは低くなっている。

伊藤委員 : それも加味して、時代の移り変わりも考えて場所を選定する必要があるのではないか。

委員長 : 文書の往復等は現在オンラインでもできるため、直接出向く機会が少なくなっており、もっともな指摘である。

3 その他

- ・ 任期満了に伴う委員改選について
委員改選や就任承諾書について、事務局より説明があった。

委員一同 : (質疑なし)

4 閉会

以 上